

「とっておきの風景」から

●みどり部門[G] ●まちかど部門[S]



まちなかで森林浴を楽しむ

公園・緑地からまちの歴史をたどる

桜の名所

●大泉公園 [G273]



地域の人々の熱意が実った公園です。緑あふれる中に、由来を刻んだ記念碑が立っています。かつて学園町に暮らした時代小説の作家、藤沢周平さんがベンチに腰かける姿も見かけられたそうです。

●こぐれの森緑地 [G272]



いわずと知れた桜の名所です。桜のトンネルはいまだに健在です。本資源は練馬区の素敵な風景 100 選でもあります。大泉学園町のシンボルでもある桜並木。桜とイチチョウを交互に植える計画も、かつてあったといえます。

●大泉学園通りの桜並木 [S37]



昔、この付近は小樽村(こぐれむら)と言いました。雑木林には終日、野鳥がさえずり、木漏れ日がまぶしいです。カタクリの花が咲いたり、野鳥が飛んで来たり、関越道に接しながらも、自然豊かな空間です。藤沢周平さんのエッセイ「冬の散歩道」のなかに、こぐれの森緑地と思われる場所が紹介されています。

大泉学園町はみどりがいっぱい!

ベランダの舞台から誰か出てきそう? ユニークな外構や生け垣が角々を飾る学園町の住宅街。季節によって街並みが変化していきます。



●みどりの城壁 [G398]



●大泉学園町四丁目区民農園 [G388]

園路が整備されていて、安心して森の中を歩くことができます。緑地に面する通りは地形に沿って南に下がっているので、森を目指して歩いていると、すい込まれそうになります。お散歩のひとつみにぴったりな場所です。



●影山の森緑地[G351]

毎日立ち止まって野菜が育つ様子を見るのが楽しみ方もいる区民農園。住宅街に点在する畑も、四季の移り変わりを楽しめるスポット。高い建物の少ない低層の住宅街の中で、空の広さをより一層感じられる場所です。

あなたも、
自分だけの
世間遺産、
探して見て
下さいね

📖 アプローチ

芝生の前庭

30年程前までは、芝生の庭でバラを育てるお宅が多かったとか。敷地の細分化等で近年では少なくなりましたが、住宅地開発がされた当時が偲ばれます。



🌲 松

お地藏様と松

学園通りから一步入ったところにある小さなお地藏様。真向いの活気ある魚屋さんとは対照的に、隣の大きな松と静かに佇むその姿は、まちを見守ってきた歴史を感じさせます。



🌳 みどり

おもむき街かどの森

学園町で一番大きな「しだれ桜」。大泉学園緑小学校にも、かつて同規模のしだれ桜があったといいますが、現存するのはここのみ。

